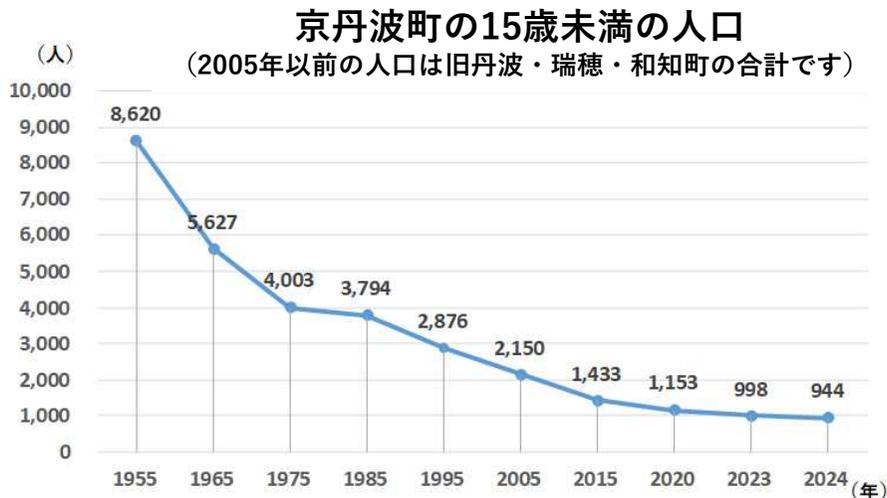


# 京丹波町こども計画と、 アンケート協力をお願い



しえんか  
京丹波町子育て支援課

# こどもや若者の今ってどうなってるの？



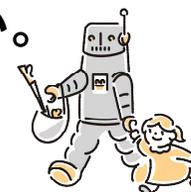
国名	15歳未満(こども)の割合(2024年)
日本	11.5%
韓国	11.6%
中国	17.2%
フランス	17.2%
アメリカ合衆国	18.0%
ベトナム	22.4%
ナイジェリア	43.0%

- 日本や京丹波町では、15歳未満のこどもの人口がどんどん減っています。
- また、こどもや若者の抱えるなやみや困りごとが複雑(ふくざつ)になってきているので、手助けが必要です。 そこで・・・

(全国のデータは総務省統計局 統計トピックスNo.141「我が国のこどもの数」から引用)

# 「こどもまんなか社会」と京丹波町こども計画

- 日本全体が今、こどもや若者が健康に育ち、幸せに毎日を過ごせるように、みんなでがんばって応援（おうえん）していく「こどもまんなか社会」に変わろうとしています。
- こどもや若者の人権を大切にして日本を「こどもまんなか社会」にするために、2023年から「こども基本法」や「こども大綱（たいこう）」という法律（ほうりつ）や目標が始まりました。
- 京丹波町でも、このアンケートでこどもや若者のみなさんの意見を聞いて、しっかり応援していくために「京丹波町こども計画」をつくりまします。来年にできるのでぜひ読んでみてください。



## ★まとめ（アンケート関係の年表）

2023年	2025年	2026年
こども基本法とこども大綱がスタート	こどもや若者へのアンケート（今回のお願い）	京丹波町こども計画が完成！

説明はのこり2枚です。続きを読んでぜひアンケートに協力してください！

## 京丹波町こども計画って？（少しくわしく説明します）

- 「京丹波町こども計画」では、「こどもまんなか社会」を目指すために、京丹波町がこどもや若者をどんなふうに応援していくかや、実際にどんな応援をするのかを1冊の本にまとめます。
- タイトルは「こども計画」ですが、こどものみなさんだけでなく、赤ちゃんから40歳くらいまでの大人（若者）まで応援していく計画です。
- 「こども計画という名前なのにどうしてこどもだけじゃないの？」と思うかもしれません。みなさんが大きくなっても京丹波町が応援を続けられるように、4つのことを書きたいと考えているからです。
  - ① こどもや若者が元気で幸せに生活するための応援
  - ② こどもや若者の不安や困りごとが少しでも軽くなるような応援
  - ③ お父さんとお母さんが安心して子育てできるための応援
  - ④ 仕事や結婚をしたい人ができるようにするための応援



# アンケートに協力してください

●京丹波町こども計画は、こどもや若者のみなさんが主役です。どうしたらみなさんがいきいきと生活できる京丹波町になるか、アンケートに意見を書いてもらい、その意見を参考にしてつくりたいと考えています。

●みなさんがいつもどんなふうに住んでいるのかも教えてください。家や学校でうれしかったことや困ったことがあれば、うれしいできごとを増やしたり、困ったことを減らせるようにしっかり応援していきたいからです。

説明はこれで終わりです。

こどもや若者が元気で暮らせる京丹波町にするためにぜひみなさんの意見を聞かせてください！

●ちなみに・・・  
去年のアンケートでは、小学生のみなさんにこんな意見を書いてもらいました。

ちくちくことばのない学校にしたい  
いろいろ相談できる場所がほしい  
中学校で一緒にいる友達と交流したい  
部活の種類や時間を増やしてほしい  
着たい人は着れる制服のようなものが  
あるとうれしい  
サッカーやホッケーができる芝生が  
ほしい  
・・・など

